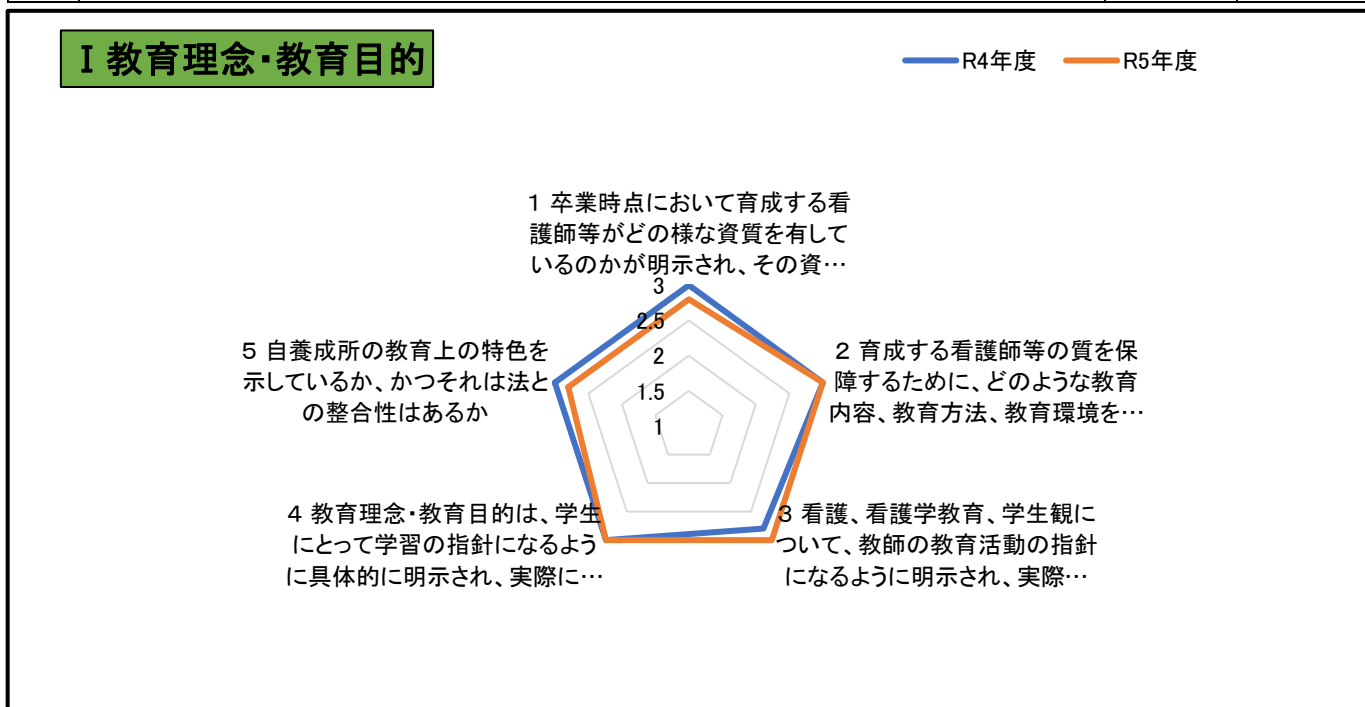


教育活動等に関する自己点検・自己評価

目的：本校の教育理念・教育目標に基づき、教育活動が実践できているかどうかを評価し、今後の教育活動の充実を図る。

方法：「看護師等養成所自己点検・自己評価指針」に基づき、4 カテゴリーについて教員を対象に行った。3段階評価（3. よく当てはまる 2. 大体当てはまる 1. 当てはまらない）

<点検>（評価内容）			
I	教育理念・教育目的	R4年度	R5年度
1	卒業時点において育成する看護師等がどのような資質を有しているのかが明示され、その資質が社会に対する看護の質を保障するのに妥当であるか	3	2.8
2	育成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容、教育方法、教育環境を整えようとしているのかについて述べているか	3	3
3	看護、看護学教育、学生観について、教師の教育活動の指針になるように明示され、実際に指針となっているか	2.8	3
4	教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に明示され、実際に指針となっているか	3	3
5	自養成所の教育上の特色を示しているか、かつそれは法との整合性はあるか	3	2.8

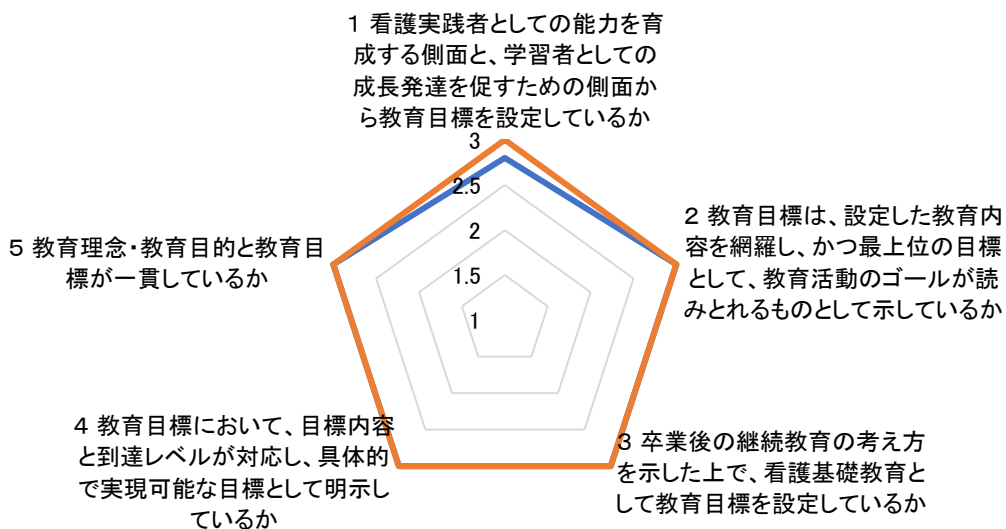


<点検> (評価内容)

II	教育目標	R4年度	R5年度
1	看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長発達を促すための側面から教育目標を設定しているか	2.8	3
2	教育目標は、設定した教育内容を網羅し、かつ最上位の目標として、教育活動のゴールが読みとれるものとして示しているか	3	3
3	卒業後の継続教育の考え方を示した上で、看護基礎教育として教育目標を設定しているか	3	3
4	教育目標において、目標内容と到達レベルが対応し、具体的で実現可能な目標として明示しているか	3	3
5	教育理念・教育目的と教育目標が一貫しているか	3	3

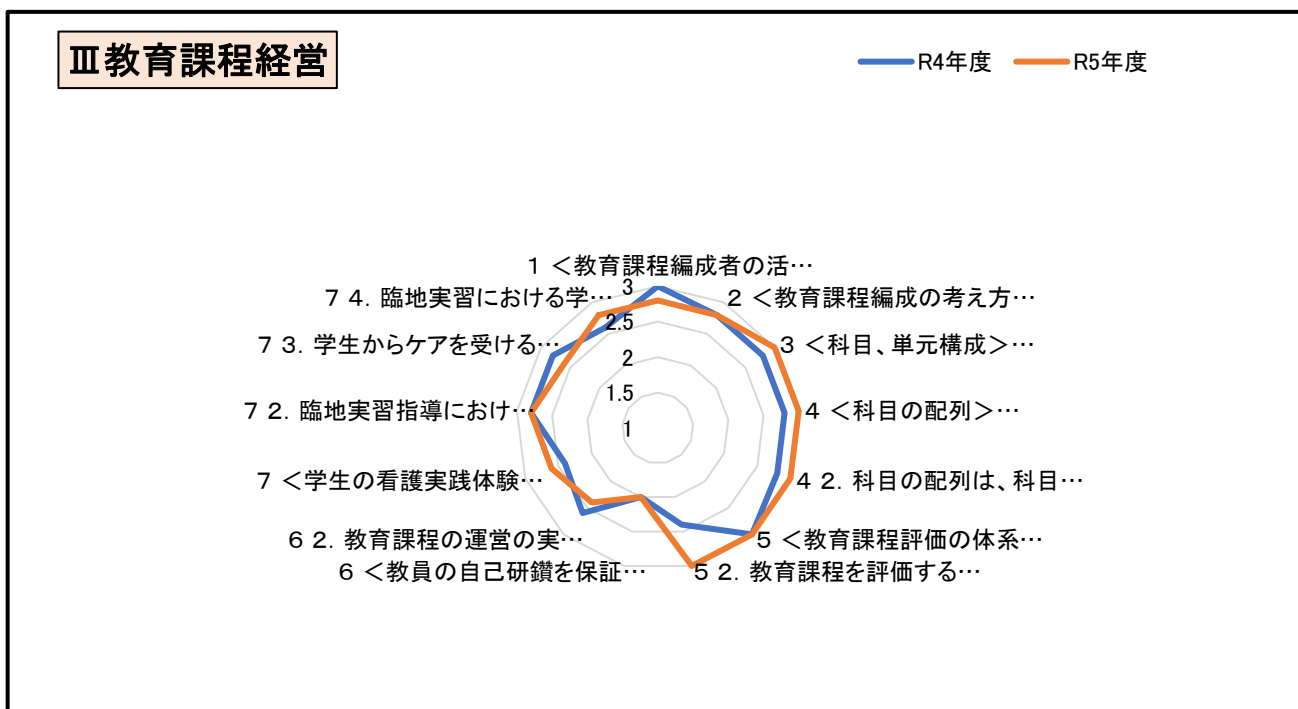
II 教育目標

— R4年度 — R5年度



＜点検＞（評価内容）			
III	教育課程経営	R4年度	R5年度
1	<p>＜教育課程編成者の活動＞</p> <p>教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育の評価の関連性を明確に持ち、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っているか</p>	3	2.8
2	<p>＜教育課程編成の考え方とその具体的な構成＞</p> <p>教育課程は、看護学の内容、求める学修の到達および学生の成長発達について明確な考え方と根拠をもって編成しているか</p>	2.8	2.8
3	<p>＜科目、単元構成＞</p> <p>科目構成、単元構成の考え方と根拠を明確にして構成され、その考え方は教育理念・目的、教育目標との整合性をもち、構成された科目は看護実践者を育成するのに妥当であり、かつ養成所の特色をあらわしているか</p>	2.8	3
4	<p>＜科目の配列＞</p> <p>1. 科目履修の方法とその制約が教師・学生の双方がわかるように明示し、その方法が学生の科目修得の支援となっているか</p>	2.8	3
	<p>2. 科目の配列は、科目履修と看護実践者になるために養成所が設定したその質を維持して修得できるような配列になっているか</p>	2.8	3
5	<p>＜教育課程評価の体系＞</p> <p>1. 修得認定の基準（設定）および方法において看護専門職に必要な学修を認めるものとして十分に根拠があり、また妥当であるか</p>	3	3
	<p>2. 教育課程を評価する体系が整っており、また、結果の活用においての倫理的規定が明確になっているか</p>	2.4	3
6	<p>＜教員の自己研鑽を保証するシステム＞</p> <p>1. 担当科目や担当時間数の関連から、教員の専門性が活かされ、授業準備に関する時間が保障され教員の専門性を教授できる体制を整えているか</p>	2	2
	<p>2. 教育課程の運営の実践者である教員が自ら成長できるための相互研鑽、自己研鑽のシステムを整えているか</p>	2.6	2.4
7	<p>＜学生の看護実践体験の保障＞</p> <p>1. 臨地実習施設は、養成所の教育理念、教育目的、教育目標を理解し、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか</p>	2.4	2.6
	<p>2. 臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者と教員がそれぞれの役割を明確にし、協働体制を整えているか</p>	2.8	2.8

3. 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方が明示し、学生への指導を計画的にしているか	2.8	2.6
4. 臨地実習における学生が関係する事故を把握、分析し、安全教育、安全対策を計画的にしているか	2.6	2.8



<点検> (評価内容)			
IV	教授・学習・評価過程	R4年度	R5年度
1	<授業内容と教育過程との一貫性> 1. 当該授業の内容は、教育課程との関係において当該学生のための授業内容のまとまりとして考えているか	2.6	3
	2. 授業内容のまとまりづくりの考え方は、科目目標との整合性を踏まえて明確に述べているか	3	3
	<看護学としての妥当性> 3. 授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある内容となっているか	3	3
	<授業内容間の関連と発展> 4. 当該授業内容と他の授業内容との関連において、重複や整合性、発展性について明確になっているか	2.2	2.6

2	<授業の展開過程>		
	1. 履修形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容のまとまりづくりに応じた形態を選択しているか	3	2.8
	2. 授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	2.6	2.6
	3. 当該授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している	2.4	2.6
3	<目標達成の評価とフィードバック>		
	1. 評価と指導の表裏一体性を踏まえた評価計画が立案・実施され、評価結果を活用し、実際に授業が改善されているか	2	2.2
	2. 可能な限り、学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れ、目標の達成状況を明確に捉えているか	2.2	2.4
4	<学習への動機付けと支援>		
	1. シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性をもってを学生の学習への動機付けと支援になっているか	3	2.8

IV教授・学習・評価過程

— R4年度 — R5年度

